# 製品の種類と運転音

## 仕様一覧表

| 項目 \ FVP～BB | | | 50 | 56 | 63 | 71 | 80 | 112 | 140 | 160 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 種類 | 機能 | | 冷暖房兼用形 | | | | | | | |
| | ユニット構成 | | 分離形 | | | | | | | |
| | 凝縮器の冷却方式 | | 空冷式 | | | | | | | |
| | 送風方式 | | 直接吹出形 | | | | | | | |
| | 定格冷房能力(kW) | | 4.5 | 5.0 | 5.6 | 6.3 | 7.1 | 10.0 | 12.5 | 14.0 |
| | 定格ヒートポンプ暖房標準能力(kW) | | 5.0 | 5.6 | 6.3 | 7.1 | 8.0 | 11.2 | 14.0 | 16.0 |
| 運転音(dB) | 室内ユニット | 急 | 42 | 42 | 43 | 43 | 43 | 50 | 51 | 53 |
| | | 強 | 40 | 40 | 41 | 41 | 41 | 47 | 48 | 51 |
| | | 弱 | 38 | 38 | 38 | 38 | 38 | 44 | 46 | 48 |

(注) ●運転音はJIS B 8616(日本工業規格)に準拠し、無響室換算したときの値です。
実際に据え付けた状態で測定すると周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなるのが普通です。
●この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

# 安全にお使いいただくために

●本機は業務用エアコンです。
「点検周期」と「保全周期」の一覧にしたがい適切な保全行為を行ってください。(66 ページ表1参照)
●家庭用として設計上の標準使用期間を超えて使用する場合は、お買上げの販売店に点検を依頼してください。
設計上の標準使用期間は長期使用製品安全表示銘板に表示しています。(銘板位置は 4 ページ参照)
設計上の標準使用期間についての詳細は下記をご覧ください。

## 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

### ■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を行っています。

※【設計上の標準使用期間】 10 年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による
発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

### ※設計上の標準使用期間とは

●運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件下での経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。製造年は室内ユニットの機種名銘板の中に西暦4桁で表示してあります。
●設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

**■標準使用条件　日本冷凍空調工業会自主基準による**

| | 項目 | 規定 |
|---|---|---|
| 環境条件 | 電源電圧 | 単相200V または三相200V |
| | 周波数 | 50/60Hz |
| | 冷房室内温度 | 27 ℃(乾球温度) |
| | 冷房室内湿度 | 47%(湿球温度19 ℃) |
| | 冷房室外温度 | 35 ℃(乾球温度) |
| | 冷房室外湿度 | 40%(湿球温度24 ℃) |
| | 暖房室内温度 | 20 ℃(乾球温度) |
| | 暖房室内湿度 | 59%(湿球温度15 ℃) |
| | 暖房室外温度 | 7 ℃(乾球温度) |
| | 暖房室外湿度 | 87%(湿球温度6 ℃) |
| | 設置条件 | 製品の据付説明書による標準設置 |
| 負荷条件 | 住宅 | 木造平屋, 南向き和室, 居間 |
| | 部屋の広さ | 機種能力に見合った広さの部屋(畳数) |
| 想定時間 | 1年当たりの使用日数 | 東京モデル<br>冷房：6月2日から9月21日までの112日間<br>暖房：10月28日から4月14日までの169日間 |
| | 1日当たりの使用時間 | 冷房：9時間／日<br>暖房：7時間／日 |
| | 1年間の使用時間 | 冷房：1,008時間／年<br>暖房：1,183時間／年 |

●設置状況や環境、使用ひん度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

# アフターサービスと保証について

## アフターサービスについて

**⚠警告**

**●分解や改造・修理をしない**

水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

**●移動・再設置は、自分でしない**

据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

**●冷媒がもれたら火気厳禁**

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、
ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、
運転してください。

禁止

**フロンについて**

1)地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する
　場合には、フロン類を回収する必要があります。
2)本機には以下に示す量のフロン類が使用されています。
　P50～P80形の場合　：$CO_2$　4,700kg相当
　P112～P160形の場合：$CO_2$　9,400kg相当
3)上記2)の数値は、本機が接続されている室外ユニット
　や接続室内ユニット台数、配管長などにより異なります。
　システム全体での数値は、室外ユニットに表示されています。

この表示はエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

### ■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。

- ●機種名
- ●製造番号と据付年月日
  } 保証書に記載してあります。
- ●故障状況 ― できるだけ詳しく
  （コントロールパネルの表示内容もお知らせください。）
- ●ご住所・お名前・お電話番号

### ■無料修理保証期間経過後の修理について

お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

### ■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打切り後10年間保有しています。

### ■保守点検契約のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水もれの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

### ■点検と保全周期の目安について

**［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］**

表1は次の使用条件が前提となります。
①ひんぱんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
（機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年としています。

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

| 主要部品名 | 点検周期 | 保全周期［交換または修理］ |
|---|---|---|
| 圧縮機 | 1 年 | 20,000時間 |
| 電動機（ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など） | | 20,000時間 |
| プリント基板類 | | 25,000時間 |
| 熱交換器 | | 5 年 |
| 電子膨張弁 | | 20,000時間 |

| 主要部品名 | 点検周期 | 保全周期［交換または修理］ |
|---|---|---|
| バルブ（電磁弁、四方弁など） | 1 年 | 20,000時間 |
| センサー（サーミスタ・圧力センサーなど） | | 5 年 |
| ドレンパン（※） | | 8 年 |
| コントロールパネルおよびスイッチ類 | | 25,000時間 |
| ファン | | 室外：10年、室内：13年 |

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
注3.「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、運転・停止ひん度が高いなど）や
使用環境（高温、多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。
※建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

## ■消耗部品の交換周期目安について

**［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］**

●表2.「交換周期」の一覧

| 主要部品名 | 点検周期 | 交換周期 |
|---|---|---|
| ロングライフフィルター | 1年 | 5 年 |
| ヒューズ | | 10年 |

| 主要部品名 | 点検周期 | 交換周期 |
|---|---|---|
| クランクケースヒーター | 1年 | 8 年 |
| ドレンパン抗菌剤（銀イオン） | | 8 年 |

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
注3.「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間、運転・停止ひん度）や使用環境がきびしくなると消耗期間が
短くなる場合があります。

詳細は、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。
なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

## ■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店または
コンタクトセンターにご相談ください。
**この製品は「フロン回収・破壊法」に定める「第一種特定製品」です。**
●この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
●この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。
いずれの場合も、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

## ■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

# 保証書について

●この製品には保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で所定事項を記入して
お渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、
エアコンを管理している方が大切に保管してください。

**保証期間…据付日から1年**

詳細は保証書をよくお読みください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買上げの
販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、
修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。
ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であっても
サービス料をいただくことがありますので、保証書は
大切に保管してください。

# お客様ご相談窓口

**商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問合わせは下記の ご購入店 へご連絡ください。**

| ご購入店名 | TEL | 据付年月日　　年　　月　　日 |
|---|---|---|
| | | |

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

**コンタクトセンター**
**（お客様総合窓口）**

非通知設定の方は、最初に 186 をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

フリーダイヤル 0120-88-1081（全国共通フリーダイヤル）
FAXでのお問合わせは　0120-07-0881（FAX専用フリーダイヤル）
http://www.daikincc.com（ご相談対応ホームページ）

営業時間：24時間365日対応いたします。
対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問合わせをお受けいたします。
（修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など）

1205


**ダイキン工業株式会社**

本　社　大阪市北区中崎西二丁目4番12号　梅田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社　東京都港区港南二丁目18番1号　JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075


3P262523-11U M11A056A [1211] FS